

## 競技上の注意（要項に既出）

1. 本大会は 2024 年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程、及び公認審判員規定により運営する。

本大会で使用する用器具は、公益財団法人日本バドミントン協会検定合格品とし、シャトルは 2024 年度公認第一種検定合格品を使用する。

大会開催中に熱中症等の発生が予想される状況になった場合は、レフェリーの判断により選手の健康状態・試合進行状況をみて、競技会場の換気を実施する。
2. 参加申込み後の監督・選手変更は、疾病、傷害等の特別な場合以外は認めない。監督・選手に変更がある都県は、都県体育（スポーツ）協会会長、都県バドミントン協会会長の承認の上、所定の様式に記入し、監督会議の開催前に監督会議受付に提出するものとする。
3. オーダーの交換について
  - (1) オーダー用紙は大会本部用・相手チーム用・自チーム用の 3 枚複写のものを使用する。
  - (2) ブロック別リーグに使用するオーダー用紙は、監督会議で配布する。
  - (3) 第 1 試合のオーダー交換は、両日とも午前 8 時 40 分からオーダー交換所で行う。

2・3 試合目のオーダー交換の時間は、会場アナウンスによって連絡を行う。
  - (4) 8 月 18 日（日）のオーダー用紙は、ブロック別リーグ戦終了後、大会本部で配布する。
4. 練習について
  - (1) 練習時間及び練習コートの割り当ては、監督会議の資料による。
  - (2) 試合開始前の空きコートでの練習は認めない。
  - (3) 試合開始前の練習は、ダブルスはパートナー同士、シングルスは対戦者同士により、2 分間以内の練習を認める。
5. インターバルについて
  - (1) すべてのゲームにおいて先行するサイドが 11 点になった時、60 秒を超えないインターバルを認める。また、第 1 ゲームと第 2 ゲームの間、第 2 ゲームと第 3 ゲームの間に 120 秒を超えないインターバルを認める。
6. ベンチ席について
  - (1) ベンチ入りは、当該チームの登録された監督・選手のみとする。
  - (2) 8 月 17 日（土）のブロック別リーグ戦では、各ブロックの若い番号のチームが主審から見て右側のベンチとする。
  - (3) 8 月 18 日（日）の通過決定戦では、A ブロックのチームが主審から見て右側のベンチとする。
7. 競技の服装について
  - (1) 競技に着用するウェア（上位）には、背面中央に縦 6～10cm、横 30cm 以内の範囲にと件名（漢字）のみを明示すること。また前面にはメーカーロゴ以外何も表示しないこと。文字は明瞭な文字を使用し、文字の色は上位背面の都県名明示部分の色と明確に区別できる色とする。
  - (2) ゼッケンを使用する場合、ゼッケンの大きさは縦 15cm 横 30cm を基準とし、必ず四隅を固定すること。
  - (3) 色付き着衣を使用する場合は、公益財団法人日本バドミントン協会審査合格品とする。
  - (4) 監督についても、7 分丈のズボンや T シャツ等、競技の品格を損なう服装は認めない。この判断はレフェリーによる。

## 8. 携帯電話・モバイル機器について

- (1) 競技フロア内では、ベンチ入りした監督・選手は携帯電話を持ち込まないか、持ち込む場合は電源を切ること。
- (2) 試合中、競技フロア内では、携帯電話・パソコン等、それに類似したいかなるモバイル機器をも使用してはならない。

### 審判上の注意（要項に既出）

#### 1. 審判員の構成について

- (1) 本大会の審判は、山梨県バドミントン協会が担当する。
- (2) ブロック別リーグ戦及び通過決定戦の審判は、主審1名、サービスジャッジ1名、線審2名、得点表示1名で構成する。

#### 2. 主審が認められたプレーの中断以外は、プレイヤーはプレーを故意に遅らせたり中断をしたりしてはならない。

#### 3. 審判の判定に対して疑問がある場合は、当該プレイヤーと監督に限り質問することができる。ただし、抗議あるいは抗議とみなされる言動をしてはならない。

#### 4. シャトルの交換は出身が決定する。なお、一対抗戦は同一銘柄とし、銘柄の変更はしない。

### \*\*\*\*\*その他の注意事項\*\*\*\*\*

#### ---競技上の注意---

1 試合開始前の練習（2分間）のシャトルは、大会本部が用意します。

2 試合（マッチ）中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。

○容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れて下さい。

○氷嚢は、ベンチ、コーチングシートで保冷バッグなどに入れ、保管してください。

3 サービスの遅延行為に関する判定は主審が行います。

4 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。

5 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。（競技規則第16条）

○息切れなど体力回復等の遅延に関わる行為、又は、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。

○主審の許可なしにコートを離れること。

○故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。

○審判員や観客に対しての横柄な振舞い、下品で無礼な態度、言動。

○見苦しい着衣でプレーをする。

○ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振る舞い。

6 競技中の怪我や病気については、主審が判断します。もし必要ならレフェリーを呼び、レフェリーの判断に従うことになります。

7 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。当該選手及び監督に限ります。

8 選手は試合終了後、選手同士の握手の後、主審（サービスジャッジ）とも握手をすることを心掛けてください。

#### 一般上の注意

##### 競技者に対するの [一般上の注意]

1 競技会場の開場は、16日12：30 17日8：10 18日8：10を予定しています。

2 競技者は会場到着後、IDカードを着用（首にかける）の上、「受付」を済ませてから入場してください。

3 会場の表示に従って、下履きと上履きの区別を付けてください。館内の全エリアは上履きです。

4 競技フロア内での飲食やクーラーボックスの持ち込みを禁止します。濡れた場合は、各自の責任できれいにしてください。

5 応援の際、競技に支障をきたすことがないように配慮をお願いします。太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援は禁止します。競技に支障があるとレフェリーが判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処します。

6 フラッシュ・ストロボを用いての写真撮影は禁止します。

7 会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。ご協力ください。

8 ゴミは各自で責任を持って処理し、分別収集に協力をお願いします。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。

8 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ主催者側で行いますが、その後の処置は各自でお願いいたします。

9 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自で責任を持って行ってください。